

地域と共に今こそ高めよう防災意識

～想定浸水深の防災サイン設置～

- 武雄河川事務所では、地域の防災意識と防災力の向上を目指した「まるごとまちごとハザードマップ」に取り組んでいます。
- 3月28日、武雄市内3地区2カ所（朝日町北上滝・南上滝地区、北方町久津具地区）で地元住民の方々と一緒に洪水時の浸水や避難場所を記した標識（防災サイン）の設置式を行いました。

作業風景



「まるごとまちごとハザードマップ」は、国土交通省全体で取り組んでおり、洪水時に河川がはん濫した場合に、
 ○普段住民が暮らしている“まちなか”のどこまで浸水するのか（又は過去どこまで浸水したか）
 ○洪水時の避難所はどこか
 という情報を電柱に表示し、まちをまるごとハザードマップにして地域の防災意識と防災力を向上させようという取り組みです。
 今回設置した防災サインには「想定浸水深」（100年に一度の規模の洪水で想定される浸水深）を記しており、全国的にも珍しい取り組みです。

《事前準備》

- ・今回の防災サインは分離型（想定浸水深と避難所に分けて設置）。
- ・地元の方々には下部分（避難所記載）を設置して頂くため、上部分（想定浸水深）は事前に職員で設置。



《設置式》

- ・地元の区長さん、班長さんにお集まり頂き、市職員と一緒に設置式を実施。

北方町久津具地区



武雄市北上滝・南上滝地区



《防災サイン》

想定浸水深



洪水時避難所



設置式の様子は、ケーブルテレビで取り上げて頂きました。

H24年度「まるまち」標識設置箇所

北上滝・南上滝地区：7カ所
 久津具地区：15カ所
 計22カ所

武雄河川事務所では地域防災意識の向上のため、引き続き防災サイン設置の取り組みを推進していきます。

問い合わせ先 国土交通省 武雄河川事務所
 地域交流窓口 0954-23-5175